

ESSEの 気ままに エリアレポート

～札幌市 平岸～



緑広がり 実り広がり

歴史 平岸リンゴ

かつて平岸は現在の中島・美園を含む平岸地域から定山渓まで及び、明治よりリンゴの一大産地でした。この一帯で栽培された「平岸リンゴ」の名は全国に広まり、試験的に海外へも輸出される程でした。しかし昭和36年に豊平町と札幌市の合併で人口が増加、土地区画整理事業等で宅地化が進みリンゴ産地の姿は薄れていきました。

その後定山渓鉄道、市電豊平線が廃止され代わりに地下鉄南北線が開通。翌年昭和47年の区政施行で豊平町は豊平区となり、平岸も増々発展を遂げていきました。

平岸発展の基礎となったリンゴは現在豊平区役所から国道36号線までの1.1kmに75本の木が植えられ全国的にも珍しい実のなる並木として今も愛されています。

施設 豊平公園

昭和49年まで林業試験場だった跡地に造られたこの公園は、約7.4ヘクタールもの広さに樹木園や花木園の他テニスコートや温水プールがあり、ウォーキングやバードウォッチング、スポーツと多様な形で楽しまれています。また緑化植物園の緑のセンターでは温室や図書室、相談室等緑にまつわる様々な施設の利用ができます。

隣接した北海きたえーるは中の島体育センター別館を移転改築、現在はジョギングやトレーニングに通う人も多く、日々の健康づくりから本格的な身体づくりまで広く利用されています。またレバンガ北海道のホームアリーナでもあるメインアリーナは最大1万人が収容でき、ライブ等も多数開催され幅広く親しまれています。

歴史 「平岸」の由来

平岸の語源はアイヌ語がもとになっており、川沿いの長崖端、「ピラ・ケシィ」(崖の・末端)から来たと言われていています。崖については現在では正確なものはわかってはいませんが、豊平川に向かって切れている精進川沿いの崖の様子であるという説もあります。

また開拓当時は「麻畑」とも呼ばれていました。平岸の開拓は岩手県水沢からの入植者が行っており、水沢漁網の原料となった麻の栽培をしていました。しかし10年余りで地力が衰え収穫量が落ちたことから、麻からリンゴへ転換。そのできが良く、以後平岸はリンゴの産地として有名になっていきました。



平岸の家賃相場は？

地下鉄平岸駅
[1LDK] 4.84万円
[2LDK] 6.63万円

自然 天神山

標高85m、広さ64.18㎡に渡る緑地を持つこの山の頂上からは札幌市街地から石狩まで眺望することができます。山中には相馬神社や展望テラス、緑地内では日本庭園、梅、桜、アートスタジオと様々な顔を持ち、自然やお花見を楽しむ人から芸術活動に勤しむ人まで多様な人々が訪れ交流しています。

またかつて頂上から見渡せた平岸一帯に栄えた平岸リンゴを記念して平岸林檎園記念歌碑などリンゴにまつわる碑等も建立されています。